

闘争宣言

大学当局の狂気の弾圧に抗して、再度サークル室奪還闘争に決起せよ！

6/24サークル室奪還闘争を圧倒的に押し出した「科学証研究会」より、大学当局の再度のサークル室ロックアウトに抗して、本日(25日)よりの奪還闘争に決起すべく、若干のアピールと、我々の闘争宣言をホームページ上でいきたい。

すべてのサークル員および日大理工における学生諸君！

大学当局は、度々にもまたしてもサークル室をロックアウトしてきた。それは単なるロックアウトでなく、日大のあの違法高い鉄柵を壊さるといふ、まさに狂気と称した弾圧をとってきた。室には鉄柵も、そして寝台のみかきは鉄柵という狂気と称した弾圧で、何が(争肉)なのか、そして何が(大争)なのか！ 我々はこのようにが能を、そしてこのように弾圧をけして居る事とはできない。どこ 大学当局が、どんなに荒い弾圧をしようとも、我々サークルはあくまでそういう弾圧を押し返していく ことをここに宣言しよう。この狂気と称した弾圧は押し返していき、我々の奇事に自立した、そして組織された運動の力を以て、我々の実体とした実践の中でこれを研鑽できるのだという ことを踏まえておかなければならない。そして、理工における唯一サークル室を奪還し、理工一帯の電力と対峙する巨力な結果をこのサークル室に構築する。こういふ、他大の電力との二重電力状況に置ることこそが実践的なる闘争の理想であり、これからの日大闘争の展望となる。

もしかにも月収料金は格別した。しかし、近年の階級闘争はまさにこれからの動きであり、68/69年、争われてきた電力闘争の質は、あらゆる立場の理想として我々の闘争に響かしてある。しかし我々は68年以後争われてきた新左翼諸派の闘争的動向行動の運動を批判的にあるいは批判的に批判して、今後この争いのバネAと展開していかねばならない。最後に、すべての同志諸君を待たぬ、たまたまあるいはサークル員は、本日のサークル室奪還闘争に決起せよ！

科学証研究会